

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第50号	
事故等種類	衝突（浮標）	
発生日時	平成22年8月31日（火） 17時35分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県名護市^{うんてん}運天港</p> <p>名護市^{あう}奥武島三角点から真方位244° 1,390m付近 （概位 北緯26° 38.1′ 東経128° 01.4′）</p>	
事故等調査の経過	<p>平成22年9月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。</p> <p>原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 旅客船 いえしま、553トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 120834、沖縄県国頭郡伊江村</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、三級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	左舷推進器翼端部曲損、船尾船底擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか9人が乗り組み、船首約2.0m、船尾約3.6mの喫水で、台風から避難するため運天港に入航し、両舷錨鎖約10節半を繰り出して運天港第19号浮標（以下「第19号浮標」という。）の南方で錨泊した。</p> <p>本船は、台風の通過により風向が北北東から西風に変った際、転錨するつもりで錨鎖約3節を巻き上げたところ、左舷に暴風を受けて船体が北方に圧流され、平成22年8月31日17時35分ごろ、船首が西北西方に向けた状態で、右舷中央が第19号浮標に接触した。</p> <p>本船は、さらに暴風を受けて圧流され、第19号浮標から北北東方110m付近の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、えい航されて離礁し、自力で造船所に向かった。また、第19号浮標には、損傷がなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 西、風力 11（最大瞬間風速46.8m/s）、視程 約0.6km</p> <p>海象：波高 約1～2m、潮汐 上げ潮の初期</p> <p>大雨警報、暴風警報、波浪警報が発表されていた。</p>	
その他の事項	本船は、台風接近により風向が変わる際、北方の浅瀬に圧流されないように転錨を予定していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、荒天下の運天港内において錨泊中、台風の通過により風向が北北東から西風に変った際、風力11の風を左舷に受けて圧流され、右舷中央が第19号浮標に接触したものと考えられる。</p>

		船長は、台風の通過で風向が変わる合間に転錨できると思っていたものと考えられる。
原因		本事故は、本船が、荒天下の運天港内において錨泊中、台風の通過により風向が北北東から西風に変わった際、風力11の風を左舷に受けて圧流されたため、右舷中央が第19号浮標に接触したことにより発生したものと考えられる。